

 **ソーシャルビジネス** ×  **日本政策金融公庫**

～ 平成 28 年度の融資実績とソーシャルビジネス支援の取組み ～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）は、政策金融機関として、地域社会の課題解決に取り組むNPO法人など、ソーシャルビジネスの担い手の皆さまを積極的に支援しています。

日本公庫のNPO法人の皆さまに対する融資実績や取組みを紹介いたします。

1 NPO法人の皆さまに対し、積極的にご融資しています

平成 28 年度のNPO法人向け融資実績は、1,476 件（前年度比 125.4%）、86 億円（前年度比 120.2%）となり、過去最高となりました。

<融資実績の推移>

		26年度	27年度	28年度	前年度比
NPO法人向け融資実績	件数	957件	1,177件	1,476件	125.4%
	金額	73億円	72億円	86億円	120.2%
うち、創業前および創業後1年以内	件数	190件	239件	(18.3%) 271件	113.4%
	金額	8億円	10億円	(13.3%) 11億円	109.5%

(注) 上表中の () はNPO法人向け融資実績に占める割合である。

<融資事例のご紹介>

融資事例集『社会起業家の知恵 ～ソーシャルビジネス支援と融資～』（平成 28 年 10 月発行）から、地域密着型デイサービスの創業にあたり日本公庫の融資を活用されたNPO法人の事例を紹介いたします。見開きの中面をご覧ください。

『社会起業家の知恵』



社会起業家 10 人が自らの経験を踏まえて語る融資の活用方法を紹介しています。

- 電子版はこちらからご覧いただけます。
- 冊子の送付をご希望の場合は、裏面のお問い合わせ先までご連絡ください。

<融資事例集>





NPO法人 みつばのくろーばー

組織概要

所在地 山梨県甲府市
 創業 平成27年12月
 分野 まちづくり・高齢者支援
 業種 老人福祉・介護事業
 従業員数 7人
 事業収益 約1千万円(平成28年7月期)
 URL <http://mitsubaya.wixsite.com/mitsubaya/>



みつばやあんきでの仲間たち

ソーシャルビジネスの概要 🔍

● Mission (使命)

どんな生きづらさを抱えている人も、縁のある人たちとともに、住みたい場所で、ずっと普通に暮らし続けることができるまちづくり。

● Action (主な取組み)

① 老人福祉・介護事業

甲府市の住宅街において、一戸建ての家屋を利用した地域密着型サービス「宅老所みつばやあんき」を運営。生きづらさを抱えた人たちの居場所となることを信念としており、ほかの介護事業所で入所を断られた高齢者も積極的に受け入れている。

特徴は、利用者に普通の暮らしを送ってもらうという明快

なもの。日常生活を過ごすことが高齢者の生活機能の維持・改善に大きな効果があると考え、決まったプログラムなどは設けていない。利用者は、スタッフのサポートの下、仲間と交流したり、散歩に出かけたりするなど、思い思いの過ごし方で、生活感を失わないようにしている。

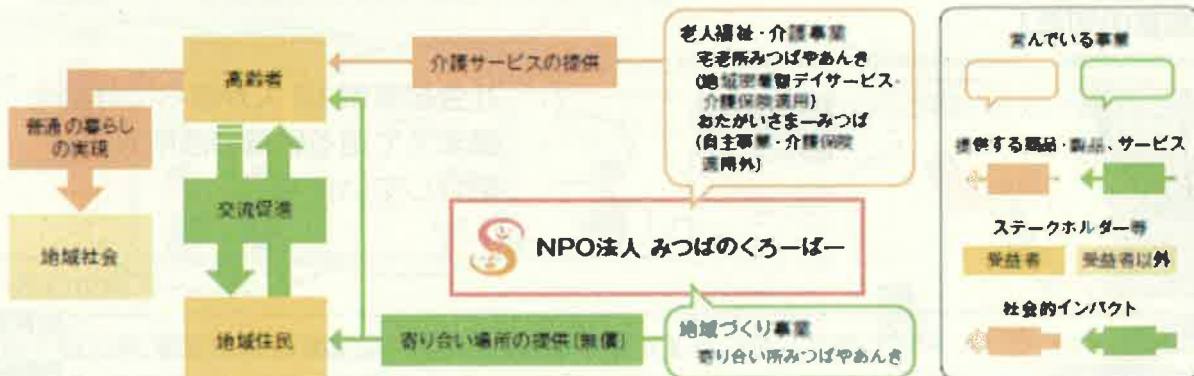
② 地域づくり事業

同法人の事業所を地域の寄り合い所として開放しており、高齢者だけでなく、地域の手ももたちや学生等も訪れる。訪れる人たちの目的はさまざまだが、地域住民の交流を促すことで、薄れつつあるコミュニティのさすなを結びつけている。

③ 今後の展望

ほかのNPOとも連携しながら、地域交流のためのイベント(地域の食材を用いた食事会等)開催を企画するなど、地域に根差した活動をさらに展開していく。

ソーシャルビジネスモデル



社会起業家インタビュー

Interview

—日本公庫を利用した経緯を教えてください。

日本公庫からは、デイサービス施設を開設するために必要な創業資金の融資を受けました。主な使いみちは、施設として使用する物件の敷金・前払家賃と創業後に事業が黒字化するまでの人件費です。私が勤務時に貯蓄した資金や友人・知人からの資金的な支援もあったのですが、それだけでは心もとなく、金融機関からの借入を検討しました。

その際、日本公庫のことを教えてくれたのが、障がい者支援に取り組むNPO法人を経営する先輩起業家です。その方から、創業時には日本公庫から融資を受けたと聞きましたので、日本公庫の店舗に相談に赴き、借入を申しました。

—初めて借入を申込された際はどのような不安がありましたか。

一番不安だったのは、やはり、融資審査に通るのかということでした。苦心して作成した創業計画書を提出したのですが、計画書の内容についてうまく説明できるか、審査の担当者からの質問にきちんと回答できるかといったことに、とても不安を感じていました。

幸いにも、担当者から厳しく指摘されることはなく、むしろ創業計画がより良くなるように一緒に考えてくれました。また、当初予定していた物件の賃借が難しくなり、審査の途中で、開設場所を探し直すことになったのですが、審査が長期化する中で



みつばやあんの居るにて

も、「大丈夫ですよ。」と励ましてくれたことが、とても嬉しかったです。

—借入申込の前にどのような準備をされていましたか。

事業計画と資金計画の検討です。最初は税理士に見てもらい、ある程度形になったものを基に、先輩起業家から意見をもらって細部を詰めていきました。

嬉しかったのは、創業するのに必要な資金額の見積もりです。創業時は資金がいくらあっても足りないという意見もありましたが、借入する以上、無理なく返済できる資金計画づくりが必要です。デイサービスは参入企業が多いため、利用者を十分に確保するまで1年程度は必要と考え、その間を乗り切れる資金額を検討しました。



みつばやあんの外観

利用している資金調達方法

✓借入

- 日本公庫
- 金融機関（日本公庫以外）
- 役員・株主・親族
- その他の団体・個人
- 出資金の受入
- 寄付金の受取
- 会費の受取
- 補助金・助成金の受取

社会起業家の知恵

『想いだけでは届かない』

NPOは常に想いが先行します。金融機関に事業の説明をする際も、夢や理想だけを語ってしまいがらで、お金を貸す側の立場に立った説明することが不十分です。自分自身の反省でもありますが、借ったお金をきちんと返済できる事業であることを客観的、論理的に説明できる力を養うことが必要だと感じています。

NPO法人 みつばのくろーばー 代表理事 堀内直也 氏

山梨県立甲府城西高等学校を経て山梨県立大学（人間福祉学部 福祉コミュニティ学科）卒業後、障がい者支援施設やデイサービスにおいて、社会福祉士・介護福祉士として勤務。高齢者や障がい者と接する中で、自らが彼らの居場所づくりに取り組もうと、独立への意欲を強くし、平成27年6月にNPO法人を設立、代表理事に就任。



2 地域の支援機関の方々と連携し、NPO法人の皆さまの経営課題の解決に取り組んでいます

NPO支援機関、地方公共団体、地域金融機関等の方々と連携し、相談会やセミナーを開催するなど、課題の解決を支援するネットワークを全国で構築しています。平成29年3月末時点のネットワーク総数「102」のうち、「78」でNPO支援機関にご参加いただいています。

日本公庫との連携をご検討いただくとともに、ご支援先の皆さまが事業資金の調達にお悩みの際は、ぜひ日本公庫をご紹介ください。

<ネットワーク事例のご紹介>

ふじソーシャルビジネス支援ネット ～「ソーシャルの日」を設け、定例相談を開催～

富士市、富士市民活動センターコミュニティf、富士商工会議所、富士市商工会、富士信用金庫および日本公庫で構成。

「毎月21日はソーシャルの日」と銘打ち、定例相談会「ソーシャルなんでも相談会」を開催。

複数機関の担当者が一人の相談者に対応することも可能で、名前どおり「なんでも」気軽に聞ける相談会となっている。



3 ホームページ内にソーシャルビジネス特設ページを設け、お役立ち情報をお届けしています

<日本公庫ホームページ>



日本公庫をご利用いただいたお客様インタビューや経営戦略、助成金、人材確保などのお役立ち情報をお届けしています。

○ こちらからご覧いただけます。

<特設ページ>



<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 国民生活事業本部 融資企画部ソーシャルビジネス支援グループ
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー
TEL (03) 3270-1495

※ 最寄の支店は、日本公庫ホームページ内の店舗案内からご覧ください。

<店舗案内>

